



報道発表

2017年8月10日

イノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合の投資について

京都大学イノベーションキャピタル株式会社（以下「京都 iCAP」）（本社：京都市左京区、代表取締役：室田浩司）を無限責任組合員とするイノベーション京都 2016 投資事業有限責任組合（以下「KYOTO-iCAP1 号ファンド」）は本日、京都大学の研究成果を活用するベンチャー企業である株式会社オリゴジェン（以下、オリゴジェン）（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：城戸常雄）に対する投資を実行いたしました。

○オリゴジェンへの投資実行について

オリゴジェンは、神経系疾患に対する新規治療法の研究開発を主力事業とするベンチャー企業です。同社の城戸社長は京都大学医学部出身の神経内科医であり、米国などでの研究活動の結果、新たな神経幹細胞を発見し「OligoGenie」と命名しました。

神経組織は、電気信号を伝える軸索とその回りを覆う絶縁性の髄鞘から構成されています。OligoGenie は、髄鞘を形成するのに必須な細胞であるオリゴデンドロサイトへの分化能が極めて高いという特徴を持っています。オリゴジェンは今後、この OligoGenie の特徴を活かし、神経組織の異常や損傷が原因となっている難治性疾患を標的とした、治療薬の実用化に取り組んで参ります。

オリゴジェンはまず、先天性大脳白質形成不全症の一種であるペリツェウス・メルツバッハ病（PMD）の治療薬開発を目指します。PMD は遺伝子の異常により髄鞘が正常に形成されないことが原因で、重度の精神運動発達遅滞をきたす疾患であり、ほとんどの患者さんは生涯にわたって寝たきりの生活を余儀なくされています。国内患者数は約 230 人と極めて少なく、現時点で有効な治療法は存在していません。

オリゴジェンは OligoGenie を有効成分とする細胞医薬について、PMD を適応症とする国内治験を 2020 年に開始することを計画しています。さらには、脊髄損傷、多発性硬化症、筋萎縮性側索硬化症といった神経系の難治性疾患の治療薬の開発にも、事業を拡大していきます。

オリゴジェンは京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA）の藤淵航教授（増殖分化機構研究部門）と共同研究を実施しており、これまでに神経幹細胞の評価技術を確認するなどの研究成果を得ています。また、藤淵教授は、オリゴジェンの科学アドバイザーを務めています。オリゴジェンと CiRA は今後、iPS 細胞から OligoGenie を作製することなどを目的とした共同研究開発も実施いたします。



京都 iCAP は、難病で苦しむ患者さんに新規治療薬を届けたいというオリゴジェンの経営理念と新規神経幹細胞を見い出した研究開発力を高く評価し、総額 1 億 1105 万円の第三者割当増資に応じ、1995 万円の投資を実行しました。なお、この第三者割当増資には、そーせいコーポレートベンチャーキャピタル株式会社、ニッセイ・キャピタル株式会社、SMBC ベンチャーキャピタル株式会社も参加しています。

株式会社オリゴジェン 概要

設立	2015 年 8 月
事業内容	神経疾患領域の新規治療薬開発
本社所在地	東京都千代田区
代表取締役	城戸 常雄

○京都大学イノベーションキャピタル株式会社（京都 iCAP）について

京都 iCAP は、京都大学に属する研究者による知（研究成果・技術等を含む）を事業化することを目的とする企業（共同研究企業からのカーブアウトを含む）へ、投資その他の支援を行うことを目的に、2014 年 12 月に国立大学法人京都大学の 100%出資子会社として設立されました。当社は、2016 年 1 月に京都大学及び民間金融機関からの出資を受け、当社を無限責任組合員とする 160 億円の KYOTO-iCAP1 号ファンドを組成いたしました。

当社では、基礎研究に強みを持つ京都大学の研究成果を基に、その実用化を志向する大学発ベンチャーに対して、期間 15 年のファンド運用期間を活かして、シード・アーリーステージの段階から長期に亘る支援・出資を行ってまいります。

【お問い合わせ先】

京都大学イノベーションキャピタル株式会社
〒606-8317 京都市左京区吉田本町 36 番地 1
京都大学国際科学イノベーション棟東館 4 階
投資部：楠美公 管理部：寺坂憲二
TEL：075-753-5303 FAX：075-753-7592
E-mail：info@kyoto-unicap.co.jp